

# プログラム&プロジェクト マネジメント研修コース

～P2Mをベースにしたプログラム・プロジェクトマネジメントのシステムと方法を学ぶ～

## 本コースの狙い

- ✓ ひとつのプロジェクトを計画し管理するためのプロジェクトマネジメントの知識体系と基礎的な適用スキルの習得
- ✓ 革新性の高い製品・サービスの開発、段階的な企業革新など、モデルやプロトタイプが存在せず、何を作るかを最初から定義することが難しい場合に適したプロジェクトマネジメントの新しいバリエーションである「アジャイルプロジェクトマネジメント手法」についての理解
- ✓ ビジネス競争力、さまざまなセクターのイノベーション、グローバル競争における持続可能性のためにますます重要な役割を獲得している高度なレベルでのプログラムマネジメントの概念の理解
- ✓ 現代の経済・産業・社会におけるプロジェクトマネージャとプログラムマネージャの役割のより深い理解

※本コースを修了した参加者はAOTS修了証書を授与されるだけでなく、特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会よりInternational P2M Practitioner(ip2M)資格証明書を授与されます。

**2024年10月28日(月)～11月8日(金)**  
**(12日間)**

**対象者:**開発途上国の企業の経営者、上級管理者、或いはプロジェクトをマネジメントする立場にある管理職、またはプロジェクトリーダー。プロジェクトマネジメントを指導する立場にある産業振興団体・業界団体の管理者、職員。

**研修費:**参加費の一部に国の補助金が適用されます。お見積もりいたしますので、お問い合わせください。

**申込締切:**

**2024年8月19日(月)**



**実施場所:** AOTS東京研修センター  
〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS)

お問い合わせ: 企業連携部 研修・派遣業務G

03-3888-8221

kigyo-inquiry-az@aots.jp



AOTS

検索

コースディレクター  
**加藤 亨 氏**

特定非営利活動法人日本  
プロジェクトマネジメント協会  
(PMAJ) 理事長

コースアドバイザー  
**田中 弘 博士**

Ph.D. (France),  
Dr.PM Hon. (Ukraine)

特定非営利活動法人日本  
プロジェクトマネジメント協会  
(PMAJ) 学術顧問  
・元理事長

# コース日程

講義と見学はすべて英語で実施されます。

| 日付            | 午 前(9:00-12:00)  | 午 後(13:00-16:00)  |
|---------------|--|---|
| 10月28日<br>(月) | オリエンテーション／<br>開講式  | 講義: 導入講義<br>日本企業が創成した、21世紀のダイナミック計画・マネジメント思想と方法論であるプログラム&プロジェクトマネジメント・ガイドブックP2Mの活用意義とニュー・ノーマル時代におけるP2Mの応用 |
| 29日<br>(火)    | 講義・演習: プロジェクトマネジメント論(1)<br>プロジェクト開発と評価   | 講義: プロジェクトマネジメント論(2)<br>プロジェクトのスコープマネジメント   |
| 30日<br>(水)    | 講義・演習: プログラムマネジメント論(1)<br>企業戦略の各柱と戦略プロジェクト群を繋ぐマネジメント・ユニットとしてのプログラムマネジメント   | プロジェクト企業見学: プログラムマネジメント論(2)<br>新鮮食品企業におけるP2Mを活用したアジャイル経営の事例に学ぶ<br>デリア食品(株)(キューピー食品事業会社)                   |
| 31日<br>(木)    | 演習: プロジェクトマネジメント論(3)<br>産業プロジェクトのスコープ設定演習  | 講義・演習: プロジェクトマネジメント論(4)<br>プロジェクトスケジュール論  |
| 11月1日<br>(金)  | 講義・演習: プロジェクトマネジメント論(5)<br>アジャイル・プロジェクトマネジメントー革新性の高い新製品・新サービスの開発計画・管理  |   |
| 2日(土)         | 休み   |   |
| 3日(日)         | 休み   |   |
| 4日<br>(月)     | 講義・演習: プロジェクトマネジメント論(6)<br>プロジェクト・リーダーシップとコミュニケーション  | 講義: プロジェクトマネジメント論(7)<br>プロジェクト資源マネジメント、組織マネジメント   |
| 5日<br>(火)     | 講義・演習: プロジェクトマネジメント論(8)<br>プロジェクトのコストマネジメント  | 講義・演習: プロジェクトマネジメント論(9)<br>プロジェクトのリスクマネジメント   |
| 6日<br>(水)     | 講義: 事例研究(プログラムマネジメント論(3))<br>JAXAの国際協調プロジェクト群から考察する多国籍チームを纏めるPMとJAXAの開発プロジェクトから民生活用への効果  | プロジェクト機関見学:<br>宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センター<br>(予定)   |
| 7日<br>(木)     | 演習: プロジェクトマネジメント総合演習<br>本コースで習得したプロジェクトマネジメントの知識を応用して、受講生グループ(4グループ)が独自選択したプロジェクトテーマについて、プロジェクト計画とプロジェクト実施の要件を演習でまとめ、グループ毎にプレゼンテーションを行う。 |   |
| 8日<br>(金)     | ラップアップ討議:<br>研修を振り返り総合質疑応答、<br>コースディレクター講評   | クラス討議:<br>研修生フィードバックと研修成果活用に向けての決意表明  |

## 東京研修センター(研修、滞在場所)について

### - Home Away from Home -

1982年4月開館、下町の人情と交通の便に恵まれた北千住に位置し宿泊施設(食事付き)を併設した研修施設です。一般研修や管理研修を実施する研修施設であると同時に、遠い母国を離れてこれらの研修に参加する研修生や実地研修中の研修生が生活する宿泊施設でもあります。慣れない国(日本)で暮らす研修生にとって、宗教や食事、生活習慣等の違いは大きな負担となりますが、これらの負担を軽減して彼らが快適に過ごせるよう、AOTSの研修センターはもう1つの我が家、"Home Away from Home"としての役割を担っています。例えば、食堂では毎回ベジタリアンやイスラム教徒に配慮したメニューが用意されているほか、日替わりで各国のエスニックフード等も用意されています。また、フロントを置いて休日・夜間を含め研修生からの相談や緊急事態に対応しているほか、定期的に医療相談を実施する等、研修生の生活を支えています。



受付



客室



教室



夕食時の食堂